

笑顔とあたたかさあふれる未来を創り出す力の育成

本校の校長 青海 正（あおみ ただし）と申します。本校に着任して、早いもので6年目となりました。赴任当時は、正にコロナからの脱却の日々でした。

さて、本校は、昭和35年4月に六郷中学校から分かれて、大田区24番目の中学校として、西六郷1丁目の現在地にあった大倉陶園の跡地に校舎を建築し開校しました。

校名は、志の茂る土壌を意味する「志茂田」から名付けられ、これまでに13406名の生徒が本校を巣立って行きました。

現在の新校舎は、平成28年に志茂田小学校、志茂田福祉センター、志茂田おおたっこひろば（学童保育）、教育支援センターつばさ「蒲田教室」との複合施設として、平成31年に竣工しました。

これまでの本校教育活動の伝統は、温かく学校を支えてくださっている盤石な西六郷地区をはじめとする地域や保護者、関係機関の皆様の本校に対する愛情と、歴代の校長先生方をはじめとする教職員の皆様の弛まぬ努力の賜物であると、心より感謝しております。

今後とも、皆様からのお力添えをいただき、学校と地域が力を合わせて、生徒たちのより良い学習環境づくりに取組む「地域とともにある学校」を目指し、地域の声を活かして、地域と一体となって特色ある学校づくりを推進してまいります。

そして、小中一貫教育を推進する学校として、志茂田小学校をはじめ、西六郷小学校、仲六郷小学校の他、道塚小学校、新宿小学校等との連携を強化し、学びと育ちの連続性を確保するとともに、生徒たちには、おおた教育ビジョン（第4期大田区教育振興基本計画）に掲げられた理念である、「笑顔とあたたかさあふれる未来を創り出す力」を育ててまいります。引き続き、保護者、地域、関係機関等の皆様の御理解・御協力を、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

校長 青海 正